

小型車も大型車もトータルエイミング

最新型光学式 3D アライメントテスター

Q.Lign キューライン

型式: BB-QL-SET

測定用カメラが小型軽量化! ワイヤレスに進化して新登場!!

- センサーヘッドをサイズダウン及び軽量化して運びやすくなり、コンパクトPCとの通信が無線式のため操作性や収納性が向上。
- 新ターゲットクランプ「Qグリップ」の採用で、ホイールを傷付けることなく簡単にターゲットを取り付けできます。
- WindowsPCからタブレット操作のコンパクトPCになり、大きなキャビネットの設置も不要になりました。



Q.Lign セットアップイメージ



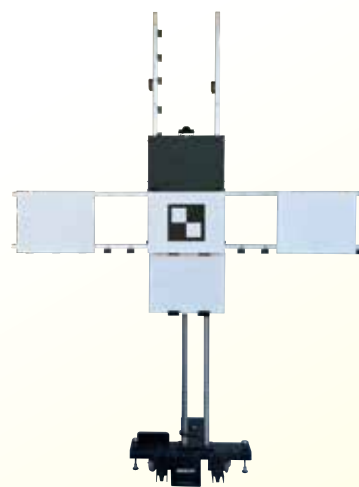
乗用車から中・大型車のエイミングサポートツール

マルチエイミングボードⅡ

型式: CSN-MAB2-3A



- ターゲットボードの貼り付け位置を組み合わせることで乗用車・小型トラック・中大型車の各カメラ用ターゲットを貼り付けることができます。



大型車の車体・アライメント整備に、「ヨサム」から最先端システム登場!
大型車用アライメントテスター

カムアライナー

型式: CA2000K-JP



- フレームセンターを基準に、車両全体の高精度なアライメント測定を実現!
- 軽量コンパクトなカメラセンサーを採用! スピーディで高精度な測定を実現!

輸送ビジネスが目する、
安全性・経済性・快適性向上の
ニーズに対応!



BANZAI 株式会社 バンザイ

<https://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigy@banzai.co.jp

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

海外販売部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6894

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700

東京支店
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6840

名古屋支店
名古屋市中千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261



ホームページ
はこちら



YouTube
はこちら



Amazon
はこちら



ISO9001認証取得
ISO14001認証取得
バンザイは SDGs を推進する
日本ユネスコ協会連盟の維持
会員として支援しています。



白い道と利尻山 稚内市 ————— 北海道
ホタテ貝の貝殻を砕いて敷き詰めた白い道が、緑豊かな丘陵を抜けて利尻山へとまっすぐ伸びる稚内市の絶景スポット。
海と山、白道のコントラストが北海道らしい爽やかな風景を生み出している。

★歳時記

7月	7日	七夕
	20日	海の日
8月	6日	広島平和記念日
	7日	立秋
	9日	長崎平和記念日
	11日	山の日
	15日	終戦記念日
9月	1日	防災の日
	21日	敬老の日
	23日	秋分の日



●目次

★特集

あらゆる「変化」をチャンスにつなげられる
持続可能なサービスショップとなるには？……………①
【第2回】着実に進む「自動化」を積極的に
活用できるサービスショップへ

★モデルショップ訪問

【長崎トヨベット株式会社 佐世保店/レクサスCPO佐世保】……⑥
コンパクトカーからBEV、マイクロバスまで
幅広く対応しながら安全性を最大限に追求
【株式会社ファミリー ポルシェセンター柏の葉】……………⑩
機能美と機能性を追求し、安全と働きやすさにも
貢献する次世代ワークショップがスマートシティに誕生

★EPOCH<ジャパントラックショー2026>……………⑭

★ショールーム……………⑯

★TOPICS<MSC感動夢工場 第5回・第10回研究会>……………⑱

★ロータリー……………⑳

★BANZAIガイド……………㉑

特集
BANZAI NEWS

あらゆる「変化」をチャンスにつなげられる
持続可能なサービスショップとなるには？

第2回

着実に進む「自動化」を積極的に
活用できるサービスショップへ



ADAS（先進運転支援システム）は過去15年間ほどで急激に進化・普及したものの、その先の段階にあるAD（自動運転）は、やや足踏み状態にあります。しかし、他の産業では技術革新が進み、自動車業界でも人口減少対策や事故件数低減のニーズが強いことから、今後の進化・普及は確実に進むと見込まれます。

2026年度連載「あらゆる『変化』をチャンスにつなげられる持続可能なサービスショップとなるには？」、2回目の今回は、自動車業界以外でも着実に進んでいる「自動化」を、いかに収益アップや作業効率向上に結びつけるかを考えたいと思います。

自動運転技術は足踏みも 社会ニーズを背景として 進化・普及が今後も続く

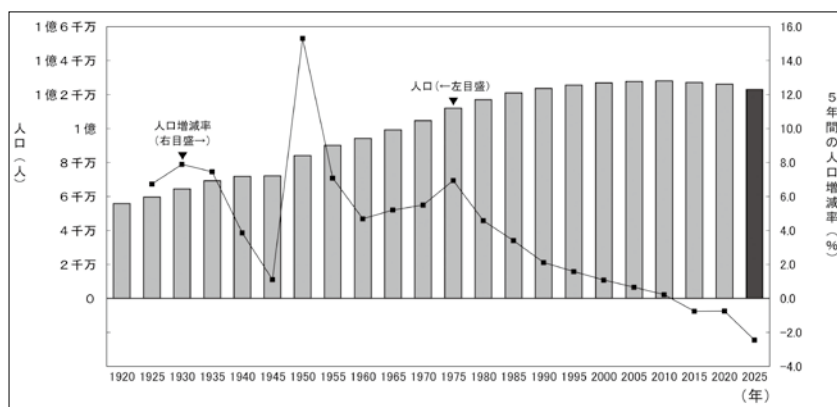
交通事故や渋滞の低減を主目的とした自動運転技術は、遅くとも1950年代よりアメリカで、1960年代には日本やヨーロッパでも研究が始まりました。

それから約40年の時を経て、日本では1999年にスバルが「レガシランカスター」に設定した「ADA」（アクティブ・ドライビング・アシスト）などを皮切りに、ドライバーが運転の主体であり続けながらクルマがそれを補助するADAS（先進運転支援システム）から実用化。その後2010年にスバルが「アイサイト（ver.2）」、2012年にダイハツが「スマートアシスト」を手が届きやすい価格で提供開始すると、急速に普及が進み、やがて他の自動車メーカーにおいても高級車から軽自動車まで幅広い車種へ展開されるようになりました。

しかし同じ頃の2010年、日本の人口は約1億2800万人に達したところでピークアウトし、直近の2025年に行われた国勢調査のデータでは約1億2300万人にまで減少。少子高齢化はそれよりも早い時期より進行しており、高齢者とされる65歳以上の人口比率は2005年の時点で先進国トップとなっています。

そうした背景もあり自動運転技術はやがて、高齢者の交通死亡事故低減、人口減少によるトラック・バス・タクシードライバー不足の補完、地域交通インフラの維持・改善に寄与するものとして、開発が促進されるようになっていきます。

2020年4月には、従来の「分解整備」にレベル2以下のADAS（国土交通省は「運行補助装置」と呼称）および、レベル3以上のAD（自動運転システム。同、「自



日本の人口および人口増減率の推移（1920～2025年）
（出典：総務省「令和7年国勢調査人口速報集計結果の要約」）

【参考資料】自動運転のレベル分け			国土交通省
システムが周辺監視	レベル5	いつでも、どこでも、無人運転	
	レベル4	一定の条件下で、自動運転 （条件外でも、車両が安全確保）	実現できること ・ 無人運転 など
	レベル3	一定の条件下で、自動運転 （条件外では、ドライバーが安全確保）	実現できること ・ 画面の注視、 ・ 携帯電話の使用 など
運転者が周辺監視	レベル2	縦・横方向に運転支援	実現できること ・（運転者の監視の下） 自動で車線変更 など
	レベル1	縦または横の一方だけ運転支援	実現できること ・ 自動ブレーキ ・ 自動で車間距離を維持 など

自動運転のレベル区分
（出典：国土交通省「自動運転を巡る動きについて」）

動運行装置」）に対する「電子制御装置整備」を追加した「特定整備認証制度」が開始され、レベル3自動運転が法的に可能に。翌2021年3月にはホンダが初のレベル3自動運転車として「レジェンドホンダセンシングエリート」のリース販売を開始しました。

さらに2023年4月には、無人自動運転の許可制度が創設され、レベル4自動運転も可能に。翌5月より福井県永平寺町で、電動カートに自動運転機能を追加した車両でのレベル4自動運転移動サービスが開始されています。そして2027年からはレベル2一般道ハンズオフ運転を実現した乗用車が発売されるほか、レベル4無人運転によるトラック・バス・タクシーの事業化も見込まれています。政府は後者の車両数を2030年度までに1万台とする計画を掲げています。

一方、こうしたレベル2ハンズオフ運転以上のAD/ADASは、社会的受容性が比較的高く、技術開発競争の激しいアメリカと中国で、いち早く進化・普及が進みました。

その反面、ADによる交通事故も発生しており、中でも2023年10月にGMクルーズのロボタクシーによるひき逃げ事故では同社の営業許可停止に至った。翌2024年12月までにはゼネラルモーターズがロボタクシー事業からの撤退を決定しました。これに伴い、GMクルーズに資本参加していたホンダが日本で2026年初頭からの開始を予定していた、自動運転タクシーサービスも計画中止を余儀なくされています。

加えて、アメリカの第二次ドナルド・トランプ政権が強行したZEV（走行時ゼロエミッション車）普及策中止の余波を受ける形で、レベル2ハンズオフ運転以上のAD/ADAS搭載を予定していたBEVの開発・発売を自動車メーカー各社が延期・中止。一部の部品メーカーも乗用車用LiDARの開発を凍結するなど、先行きは決して明るいとは言いきれない情勢にあります。

従って、サービスショップの皆さんはしばらく様子を見るべきかと言えば、そのようなことはありません。ADASの進化・普及は現在進行形で続いています。

またADも、商用車およびクローズドエリアで用いる産業用モビリティ・ロボット向けは、深刻な人材不足を背景として、前述の乗用車用LiDAR開発を凍結した部品メーカーにおいても開発を継続するなど、やはり進化・普及が続いています。

その結果としてLiDARなど高性能なセンサーのコストダウンが進み、高精細3Dマップや膨大なプログラム開発工数を必要としないAIベースのAD開発も広がれば、手が届きやすい価格で車両やサービスを提供できる



自動運転レベル3型式指定を初めて取得したホンダ・レジェンドホンダセンシングエリートとそのセンサー構成



レベル4自動運転の実装地域
（出典：国土交通省「自動運転の普及・拡大に関する取組」）

ようになり、爆発的に普及する可能性を秘めているからです。

「自動化」技術はサービス 工場の作業効率向上・作業 品質安定化にも積極活用を

では、サービスショップの皆さんは、具体的にどのような準備をした方がよいのでしょうか？

まず、前述の特定整備制度における電子制御装置整備認証は、自動運行装置（＝レベル3以上のAD）を

含む場合と、自動運行装置を除く（＝レベル2以下のADASのみ）場合とで、区分が異なる点に注意が必要です。

2020年4月の制度発足時点では、両者の違いは非常に少なく、自動運行装置を含む電子制御装置整備認証を取得する場合に「自動運行装置を装備した自動車の自動運行装置の点検・整備に必要な技術情報を入手できること」が追加で求められるのみでした。

しかし、2025年7月の省令改正により、2029年4月1日以降は、指定工場でレベル3以上の自動運転車を検査する場合、自動車検査員を1級自動車整備士から選任しなければならなくなります。

なお、国土交通省によれば、2026年5月末時点における電子制御装置整備の認証工場数は6万3378件。このうち自動運行装置を含む認証を取得しているのは232件に留まっています。それは現時点で、レベル3以上の自動運転車が「レジェンドホンダセンシングエリート」やその他実証実験車両、レベル4自動運転サービスも福井県永平寺町のものなど、車種・台数ともごく少数に留まるからです。

しかし、2027年度以降に自動運転車の量産化が進めば、ADの搭載車種・台数も短期間で拡大する可能性があります。もしそうなれば、2029年4月1日の時点で自社の指定工場が自動運行装置を含む電子制御装置整備認証を取得しておらず、1級自動車整備士も在籍していない場合、自動運転車の車検を実施できなくなります。

自動運行装置を含む電子制御装置整備認証の取得については、その整備情報の入手体制構築が求められるため、現実的にはADを実装した量販車種の発売を待たなければならぬでしょう。しか

し、1級自動車整備士の確保に向けた取り組みは、今からでも可能です。むしろ、現時点で在籍していない場合、その獲得は喫緊の課題と捉える必要があります。

7. 国内における自動運転車の開発及び市場展開見通し(2026年1月)

自動車	路線バス	タクシー	トラック
AIベース	ルールベース	ルールベース	ルールベース
● 自家用車については、再来年度(2027年度)にも「AIベース」の自動運転車が販売予定 ● 商用車については、運転者を要しない自動運転車の事業化に向けた開発が進められている ※現在ではルールベースの開発だが、今後AIベースの開発も視野に ● 「ルールベース」の自動運転技術と「AIベース」の自動運転技術の組合せにより、自動運転社会の実現が目前に	―今後、AIとの組合せを検討 トヨタ e-Paletteで無人運転 (2027年度実装予定)	―今後、AIとの組合せを検討 日本交通 ウェイモ(米)と無人タクシー (サービス開始時期非公表)	―今後、AIとの組合せを検討 いすゞ 無人トラック (2027年度事業化予定)
ホンダ ヘルムAI社(米)のAI搭載 (2027年度販売予定) helmo AI HONDA	いすゞ 大型バスの無人運転 (2027年度事業化予定)	日産 無人タクシー (2027年度サービス開始予定)	ロボトラック 無人トラック (2027年度事業化予定)

日本における自動運転車開発状況および市場展開の見通し
(出典:国土交通省「自動運転を巡る動きについて」)



日産アリアをベースに「Wayve AI Driver」ソフトウェアを実装した「次世代プロパイロット」開発試作車とそのセンサー構成

2. 世界的な自動運転の研究開発競争

日本	米国	中国	欧州
トヨタ 自動車のパートナーと連携し、自動運転技術を開発中 日産 自動運転技術を開発中 ティアフォー 自動運転技術を開発中	ウェイモ 自動運転技術を開発中 クルーズ 自動運転技術を開発中 テスラ 自動運転技術を開発中	ポニー 自動運転技術を開発中 ウェイモ 自動運転技術を開発中 バイドゥ 自動運転技術を開発中	ナビア 自動運転技術を開発中 ウェイモ 自動運転技術を開発中 ウェイモ 自動運転技術を開発中

日米中欧の自動運転技術開発状況
(出典:国土交通省「自動運転を巡る動きについて」)

厚生労働省の調査によれば、自動車整備士の有効求人倍率は、2024年度時点で5.45倍。また日本自動車整備振興会連合会（日整連）が発行する「自動車整備白書」

によれば、2024年度時点で自動車整備工場に所属する1級自動車整備士は1万6139人。これに2級・3級自動車整備士を合わせた総数が33万3475人に達することを見ても、1級自動車整備士の確保はいかに困難かが想像できると思います。

さて、自動運転技術が、商用車や産業用モビリティ・ロボットの世界では深刻な人材不足を背景として進化・普及が継続していることを、先ほど述べました。こうした「自動化」の流れは自動車整備機器においても同様で、さらに付け加えれば高度なセンサー類や制御を用いずともメカニックの身体的負荷を大きく軽減する「省力化」に寄与する機器類も、進化・普及が進んでいます。

具体的には、門型洗車機やホイールドリー、補修塗装用測色・調色システムなどはすでに普及が進んでおり、より扱いやすく省エネなものへと進化も続いています。そして現在、部品搬送や故障診断、事故車損傷診断、タイヤ交換、ヘッドライト検査、吹き付け塗装などについても、「自動化」を可能とするものが誕生しています。これらについては、サービスショップの皆さんの事業規模や人材不足の状況に応じて導入すれば、作業効率の大幅な向上や作業品質の安定化に大きく寄与すると思われます。

なおAD/ADAS用センサーについては、エイミングを不要とするものの開発が一部部品メーカーで進められていますが、それらの市販車への採用は2030年頃と見込まれています。従って、当面の間はエイミングを必要とするセンサーを搭載した車両が増え続けるため、バンザイがかねてより提唱している「トータルエイミング」の重要性は変わりません。むしろセンサーの数が増え、LiDARなどの高性能なセンサーも搭載する車両であれば、ますます重要になることでしょう。

これら「自動化」「省人化」に寄与する整備機器の導入や開発・販売・改善に関するご要望、「トータルエイミング」の詳細については、バンザイまでお気軽にお問い合わせ下さい。



洗車の自動化および時間短縮による作業効率向上に加え、使用水量の削減にも寄与する門型洗車機「エミネントデルタ2」



オートサービスショー2025に参考出品された、車両を通過させるだけで外板の傷や凹みを検知・記録できる「ADピークルスキャナー」



アステモが2030年の実用化を目指し開発中の、経年変化や乗車位置・人数の変化など合わせ走行中に自動キャリブレーションを行うステレオカメラ

今回は、近年目まぐるしく「変化」が起き続けている「電動化」について、詳しく掘り下げたいと思います。

コンパクトカーからBEV、マイクロバスまで幅広く対応しながら安全性を最大限に追求



長崎トヨペット株式会社 佐世保店（右）／レクサスCPO 佐世保（左）の外観。両ショールームの上をモダンなデザインのひさが覆う

長崎県内全体を商圏とする長崎トヨペット株式会社が2026年5月28日、佐世保店を移転・リニューアルオープン。レクサス認定中古車「CPO」を取り扱う「レクサスCPO 佐世保」も新設。トヨタ・レクサス双方の車両の整備を担う最新鋭の整備工場も設けられました。



佐世保店
店長
片山 賢介 氏



佐世保店
サービスマネージャー
藤村 慎一 氏



納車スペースを長崎トヨペット佐世保店側（左）に2台分、レクサスCPO 佐世保側（右）にも1台分、それぞれ異なるデザインで用意。



4台分のスペースをもつレクサスCPO 佐世保の来場者駐車場は急速充電器（写真右）も完備。

レクサス中古車専売拠点を新たに併設し利便性を向上 明るくモダンな店舗に一新

1956年7月に設立され創業70年を迎えた長崎トヨペット株式会社（以下、長崎トヨペット）は、同社のほかネットヨタ長崎株式会社やタクシー会社4社などを傘下に収める、馬場グループの中核企業の一つです。現在、長崎県内全域に新車販売拠点12店舗（「レクサス長崎」を含む）、中古車専売拠点1店舗、钣金塗装工場1店舗を構えています。

その中でも旧・佐世保店（長崎県佐世保市大和町403-1）は開店が1968年3月と歴史が長く、建物や工場設備の経年変化が進んだことに加え、「国道35号沿いにあるお店の前のT字型交差点が、以前は片側2車線で、まだ右折専用レー

ンから入りやすかったのですが、今は3車線となり、お客様が右折で来店しにくくなってしまいました」（片山店長）。

また、「佐世保市内にお住まいのお客様でも、クルマで片道1時間以上かかるレクサス長崎まで足を運んでいただいている」という。不便を解消すべく、レクサスの認定中古車「CPO」のショールームおよびサービス工場「レクサスCPO 佐世保」を併せて新設するため、2021年より計画が進められ、2024年より着工。2026年5月28日に、旧店舗より約700m西側の新店舗（長崎県佐世保市大和町864-2）へ移転リニューアルオープンしました。

長崎トヨペット佐世保店のショールームは、「地域密着を会社としても掲げているため、子どもも気軽に入れるように」との考えから、道路側を全面ガラス張りになっている。また、室内には明るい色調の木材をふんだんに使用し、森林を思わせる有



森林をイメージした親しみやすいデザインが与えられた、長崎トヨペット佐世保店のショールーム。個室の商談スペースも備わる。



レクサスCPO 佐世保のショールームは新車販売拠点と同様の高級感ある和モダンの空間。

機的で親しみやすいデザインを採用。さらに、2カ所の納車スペースにはそれぞれ異なるデザインを与え、「お客様のお好みに合わせた雰囲気での納車できるよう配慮」しています。

レクサスCPO 佐世保側のショールームは、レクサスインターナショナルが指定する最新のCI（コーポレートアイデンティティ）に沿い、「高級感を重視」。豪華ながらも上品で和モダンを感じさせる落ち着いた設えとなっています。

地盤の特性に合わせてパンタ式リフトを全面導入 幅広い車種の整備にも対応

長崎トヨペット佐世保店側のショールームに隣接する形で設けられたサービス工場は、各ストールの間隔が4m以上確保されたうえ支柱がなく、リフトは収納時に床面がフラットになるパンタグラフ式またはXリンク式が全面的に採用されるなど、視界が広く障害物も少ない安全な空間となっています。

なお、パンタグラフ式およびXリンク式リフトの全面採用は、「地下水が湧き出やすい地盤のため、設置工事の際に地面を掘る深さを最小限（60cm）に抑える必要があった」（藤村マネージャー）ことも大きな理由の一つですが、これが工場美観と安全性の向上にもつながっています。

6基を導入した能力3.2tの「イーグルNXリフト」のうち、完成検査場に隣接する1基は、「車検入庫車両のほぼ全数



サービス工場外観。2カ所の入口にはロールシャッターを設置し空調効率をアップ。



敷地奥の坂道を上った先には入庫車両や中古車の在庫を保管できる広大な車両置き場を完備。その最奥部には新車・中古車の納車前整備を担う第二整備場（下写真奥）がある。



長崎トヨベット佐世保店では唯一、天井吊り下げ式ホースが設置されたSQ車検ストール。



(上) 写真左より能力5tの「フラットワークステージX」、同4tの「イーグルアドバンスリフト」、同3.2tの「イーグルNXリフト」。(下)ホースはキャビネットに収納される。

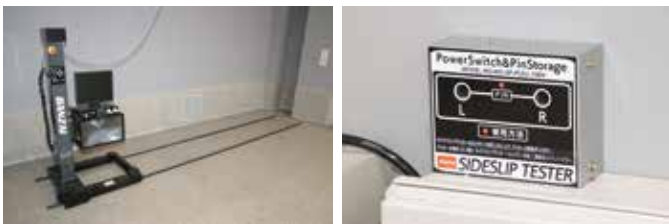
に選ばれる」という短時間車検メニュー「SQ車検」に用いられ、その隣の1基は点検、それ以外の4基では一般整備に対応。壁面が黒、床面がタイル貼りとされたレクサス車専用ストールには、上昇時も床面がフラットになる能力3.2tの「イーグルFXリフト」が2基導入されています。

そのほか、能力4tの「イーグルアドバンスリフト」は、今後の普及が見込まれるBEV（バッテリー式電気自動車）への対応を見据えつつ、主に重整備を担当。能力5tのドライブオンリフト「フラットワークステージX」は、小型トラック「ダイナ」やマイクロバス「コースター」といった商用車の整備を担っています。

なお、極限まで作業時間短縮が求められるSQ車検用ストールを除き、ホース類は天井ではなく壁面のキャビネットに収納。全てのリフトの操作リモコンは、天井吊り下げの有線式ではなく、自由に持ち運び可能な無線式が採用され、「一連の作業を一人で完結でき、メカニックごとに使用するリフトを割り当てることも可能」となっています。

洗車場はサービス工場内のほか、敷地内の丘にある別棟の第二整備場にも設けられ、双方に門型洗車機「エミメントαⅣ」を導入。前者は車検・点検での入庫車両、後者は納車前整備を受けた新車・中古車の洗車に活用されています。

さらにはエアコンを完備し、サービス工場にある2ヵ所の出入口にはロールシャッターを備えるなど、暑さ・寒さ対策も万全。年間入庫目標台数6千台超を掲げる同店が、旧店舗以上のにぎわいを見せる大規模店舗となることは間違いありません。



完成検査場には自動式・画像処理方式ヘッドライトテスター「HT-538」（左下）を導入し作業効率を最大限追求しつつ「ロックピン抜き忘れ防止装置」（右下）で法令を遵守。



特別な仕立てのレクサス車専用ストールには上昇・下降時とも床面がフラットになる能力3.2tの「イーグルFXリフト」を2基導入。



サービス工場内の洗車場には隔壁を設けて水滴などの飛散と騒音の拡散を防止。門型洗車機「エミメントαⅣ」で洗った車両は普通充電器も備わる向かいのスペースで拭き上げる。

店舗概要

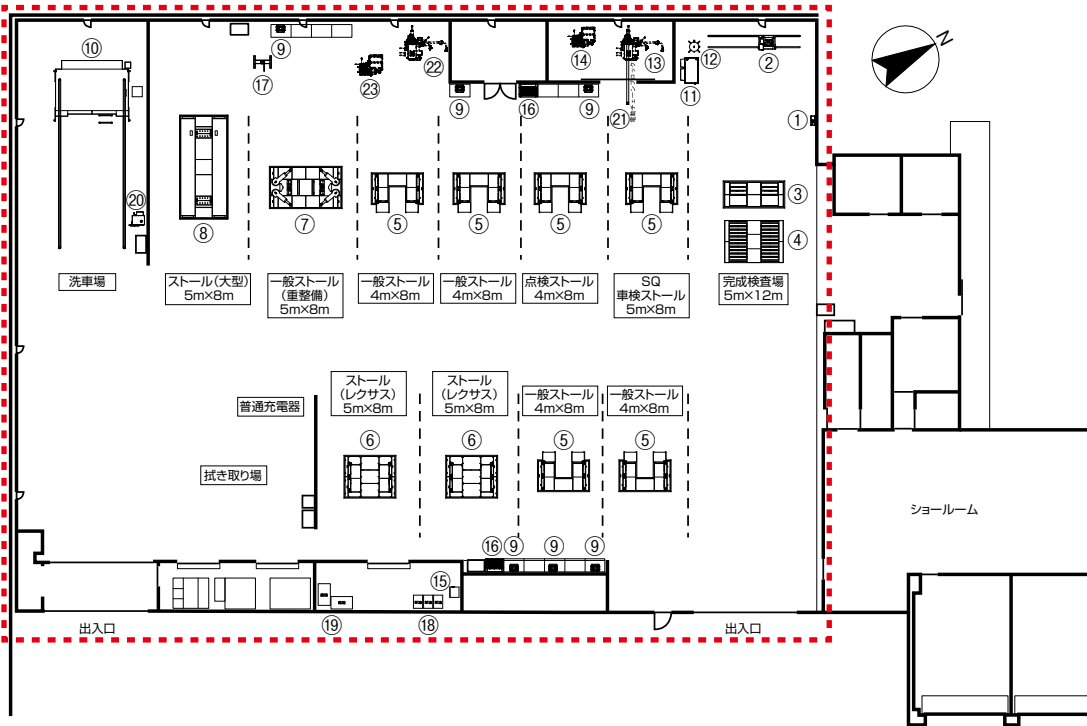
- 所在地：長崎県佐世保市大和町864-2
- 電話番号：0956-31-4191
- 店舗設立：2026年5月

サービス概要

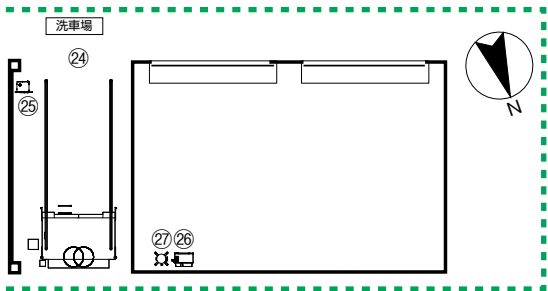
- 長崎トヨベット佐世保店23名（うちメカニック11名）、レクサスCPO佐世保5名（うちメカニック2名）
- 敷地面積：3,309坪（10,938.92㎡）
- 工場面積：418坪（1,380.2㎡）

工場レイアウト詳細

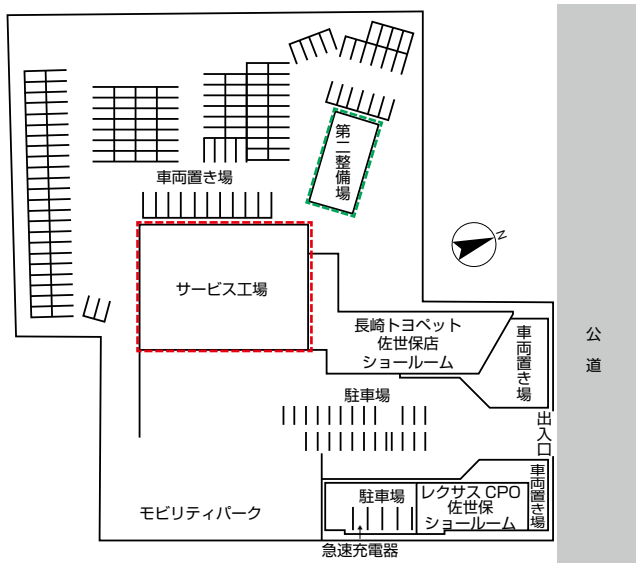
【サービス工場】



【第二整備場】



店舗全体図



設備一覧

- ① ネットワークイージープラス
- ② 自動画像式ヘッドライトテスター
- ③ トリプルデスター
- ④ 固定式フリーローラー
- ⑤ イーグルNXリフト 3.2t
- ⑥ イーグルFXリフト 3.2t
- ⑦ イーグルアドバンスリフト 4t
- ⑧ フラットワークステージX 5t
- ⑨ 2連リールボックス
- ⑩ 門型洗車機 エミメントαⅣ
- ⑪ パッケージコンプレッサー 5.5kw
- ⑫ 補助タンク
- ⑬ タイヤチェンジャー
- ⑭ ホイールバルンサー
- ⑮ 電動ポンプユニット 3 油種
- ⑯ オイルサーバー&ドレンボックス
- ⑰ 油圧プレス 15t
- ⑱ 新油タンク
- ⑲ 廃油タンク
- ⑳ 温水洗車機 2.2kw
- ㉑ 電動チェーンブロック
- ㉒ タイヤチェンジャー
- ㉓ ホイールバルンサー
- ㉔ 門型洗車機 エミメントαⅣ
- ㉕ 温水洗車機 2.2kw
- ㉖ パッケージコンプレッサー 2.2kw
- ㉗ 補助タンク

機能美と機能性を追求し、安全と働きやすさにも貢献する次世代ワークショップがスマートシティに誕生



ポルシェコミュニティの発信の場として新たなディーラー像を提示する新店舗外観。

千葉県柏市北部、柏の葉エリアは「公・民・学」連携による最先端のスマートシティとして整備され、国際学術研究都市・次世代環境都市として注目を集める街づくりが進められています。人口流入も著しく、柏の葉効果により、柏市は2070年まで人口流入が続くと見込まれている都市です。

この次世代都市に、5月21日に移転・新装オープンしたのが「ポルシェセンター 柏の葉」です。ポルシェの世界観を五感で体感できる洗練された空間がここに完成しました。



代表取締役社長
湯浅 茂弘 氏



アフターセールス
マネージャー
片岡 千也 氏



ポルシェグローバルCIの設計思想に基づくショールーム。左側はパーカウンター。

成長著しいスマートシティの新たなランドマークとして

「ポルシェセンター柏の葉」を運営する株式会社ファミリーは千葉県千葉市に本社を置き、ポルシェの他、欧米の主要な輸入車ブランドの正規ディーラーの運営を行うとともに、多角経営を実践する企業です。また、自動車販売では全国の優秀ディーラーとして表彰されるなど、インポーターをはじめ、地域からも高い評価を受けています。

5月21日にオープンした「ポルシェセンター柏の葉」はポルシェジャパンが進める最新のグローバル店舗CI（Destination Porsche）に準拠させるとともに、常磐自動車道柏ICからの



ラグジュアリーな装いのデリバリールーム。お客様への納車を待つ。

アクセスの良さと未来都市柏の葉を含めた商圏の再構築を目的に移転・新装を行いました。

近年ポルシェの新車新規登録台数は飛躍的な拡大を遂げており、中でも2025年は前年比5.1%増の9,767台を記録するなど、過去最高の販売台数を更新しました。同社においても同水準の販売増となり、今回の移転は国内における輸入車ブランドとしてさらなる成長の時期ともぴったり重なりました。



レーシングラインをイメージした展示ゾーンと新型パナメーラ。



EVを展示するEVゾーン。



潇洒な商談ルーム。



インテリアを提案するフィッティングルーム。



ポルシェブランドのアパレル販売ゾーン。

究極のカーライフの旅へ誘う新たなディーラー像を提示

約2,950㎡の広大な敷地に、570㎡のショールームとスケール感のあるワークショップ（整備事業場）を効率よくレイアウトした店舗は、シルバーカラーのパネルで覆われたダイナミックなデザインとし、スマートシティ、柏の葉のイメージに溶け込んでいます。また、ショールーム内はCIコンセプトであるDestination Porsche（デスティネーション ポルシェ）の思想を具現化したゾーニングとエレガントな内装と演出により、従来の自動車販売店と異なる、新たなディーラー像を提示しています。

例えば、店舗入口から真っすぐ伸びるレーシングラインとスターティンググリッドのゾーンはそのうちのひとつ。ここは訴求力の高い新型車を配置するコアスペースで、来店したお客様を一気にポルシェワールドへと引き込みます。このゾーンがひと際明るく見えるのは、ルーフに天窓をあしらったため。自然光の下、まるで教会のセンターアイルのように空間が浮かび上がり、ポルシェの美しいスタイリングが、より引き立つ設計としました。

ゾーニングはこの他、EVを展示するゾーン、インテリアをオー

ダーするフィッティングルーム、さらにはパーカウンターやアパレルなどを販売するオーナーズコレクションなど、ポルシェのあらゆるサービスをトータルで網羅し、オーナーシップのステイタスを満たす仕掛けが散りばめられています。

機能美と安全性と働きやすさを兼ね備えた最高峰のワークショップが誕生

ポルシェにとって、販売との両輪を担うアフターサービスにおいても、機能性と機能美を両立するワークショップが具現化されました。検査ラインを含めて全8スートルの9ペイは、移転前の店舗とほぼ同水準ですが、スートル幅を約4.5mに拡大するなどゆとりの設計が施されています。

同社の湯浅茂弘社長が掲げた「シンプルで機能美を追求し、作業場をミニマル化したワークショップ」のコンセプトの元、他に類を見ないサービス工場がデザインされました。リフトは全てフルフラットタイプを採用するとともに、リールやリフトのスイッチ類は特注キャビネットに収納、また排気ホースも床下にビルトインさせるなど、インビジブル・デザインを徹底したイノベティブなワークショップです。また、各種整備機器も作業場内



ワークショップ外観。入口にエアカーテンを設備し、気密性を向上。



整然としたワークショップ内観。機能美と機能性を追求したクリエイティビティな作業場を実現。



検査ライン。ヘッドライトテスター、ケーブルも埋設



キャビネットに収納されたリール類。



タンデムリフト（フラットワイドアーム型）は5ストールに導入。



問診を行うサービスレセプション。フラットワークステージ（左）とハイスペックモデルのホイールバルンサー。で対応。



30インチまで対応可能なレバーレスタイヤチェンジャー



イーグル・アドバンスリフト（4トン）は、主にHV、そしてEV用の整備に活用。



ショールームと接するアライメント診断ストール。リフトはフラットワークステージ（アライメント仕様）。

には配置せず、必要に応じてバックヤードから運び出す徹底ぶり。機能美を追求したボルシェらしい作業場を追求しています。そのワークショップは、ショールームから一望でき、ソファに腰かけたお客様は自身の大切なボルシェの整備を確認することができます。

お客様にとって、自身の大切なボルシェがどのような作業場で整備されているかは大いに気になるところ。それを可視化することで、お客様に安心感が芽生えます。また、そのワークショップが洗練されたプロショップであれば、ボルシェオーナーとしての誇りは増幅するでしょう。

同店が目指したワークショップは機能美の追求だけではなく、メカニックの働きやすさと安全性、そして作業効率向上にも大きく貢献しています。片岡千也アフターセールスマネー

ジャーは、「フルフラットリフトの導入でホイールを傷つけてしまうリスクを回避し、またリールをスローモーションリールにしたことで安全性が向上しました。メカニックの安心感とモチベーションも高まりました」とその効果を語ります。その結果、働きやすさの向上に加え、作業効率をさらに高めています。

「整備機器の投資コストは社員の安全や作業性向上に比例すると考えています。社員のことを常に考えた設備投資を行っていきたいです」と湯浅社長。

ボルシェのワークショップは設備と技術の両面で常に世界の最高峰であり続けています。柏の葉にオープンした最新のサービス工場は機能美と安全性、そして整備士の働きやすさを究極的に進化させるとともに、スマートシティに相応しい完成形のワークショップとして、ここに誕生しました。

店舗概要

- 所在地：千葉県柏市正連寺412-3
- 電話番号：04-7137-3500
- 店舗設立：2026年5月

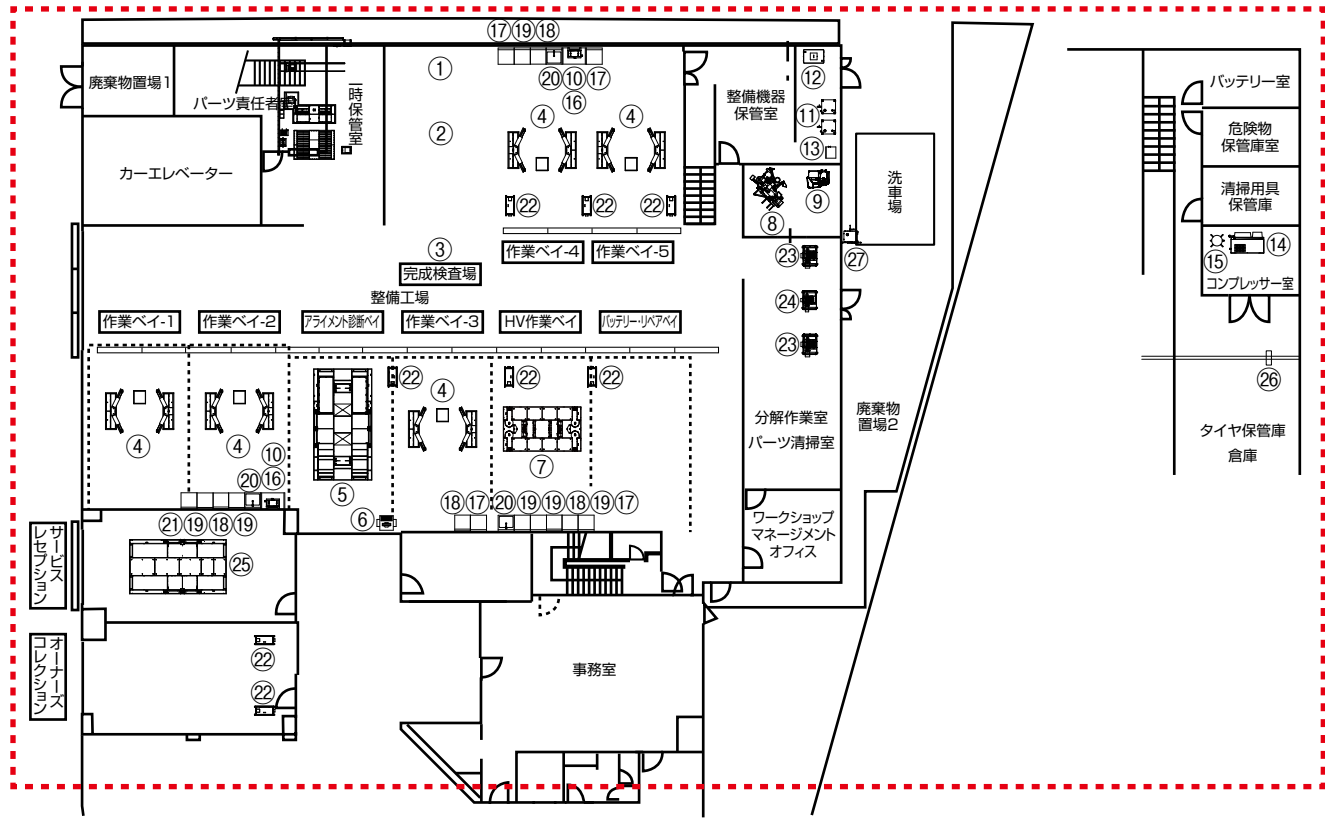
サービス概要

- スタッフ数：16名（うちメカニック9名）
- 敷地面積：2,950㎡
- サービス工場面積：402.6㎡（延床面積）

工場レイアウト詳細

【1F】

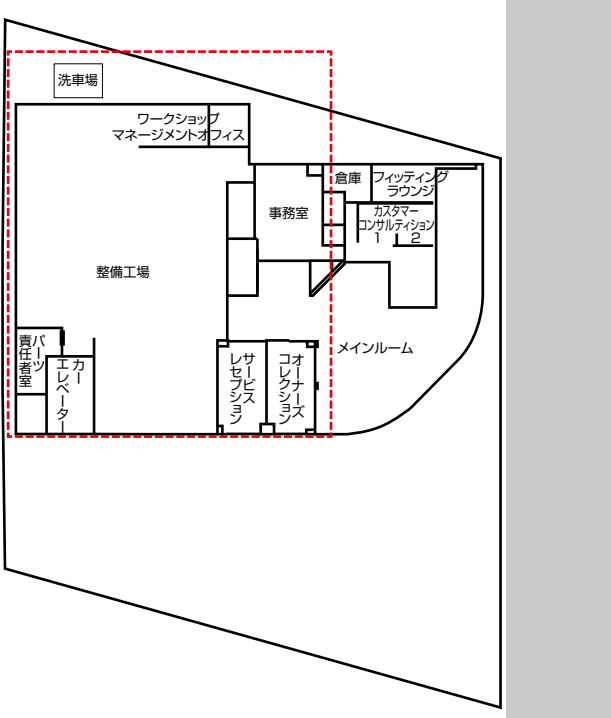
【2F】



設備一覧

- ①画像手動式ヘッドライトテスター
- ②トリプルテスター 15kw モーターリング装置付
- ③フリーローラー
- ④タンデムリフト 3t フラットアームワイドFK 付
- ⑤フラットワークステージ 4t アライメント仕様
- ⑥アライメントテスター
- ⑦イーグルアドバンスリフト 4t
- ⑧タイヤチェンジャー
- ⑨ホイールバルンサー
- ⑩オイルサーバー&ドレンボックス
- ⑪新油タンク
- ⑫廃油タンク
- ⑬電動式オイルポンプ
- ⑭エアコンプレッサー ドライヤ付 70L
- ⑮補助タンク
- ⑯キャビネット W1080
- ⑰キャビネット（リール×2、無線リモコン×1）
- ⑱キャビネット（LAN、コンセント付 /3 台）
- ⑲キャビネット W720
- ⑳手洗いシンク
- ㉑キャビネット（リール×4、無線リモコン×2）
- ㉒埋設式排気装置
- ㉓排気ファン 3.7KW
- ㉔排気ファン 2.2KW
- ㉕フラットワークステージ 3.2t
- ㉖電動チェーンブロック
- ㉗温水洗車機 2.2kw

店舗全体図





ジャパントラックショー 2026
バンザイブースへご来場ありがとうございました！

ジャパントラックショー 2026

トラック・輸送業界が抱える課題を解決する最先端の整備機器をご提案



バンザイブース入口では今回も BAN 君が来場者の皆様を元気にお出迎え！

トラック・輸送業界の総合展示会「ジャパントラックショー 2026」が5月14～16日の三日間、パシフィコ横浜で開催されました。

物流業界ではいま、2024年4月に施行された働き方改革関連法により、自動車運転業務の年間時間外労働が上限960時間に制限されたことに伴う、トラック・輸送業界の「2024年問題」が顕在化。中でも人材不足が今後ますます深刻化することは確実視されています。

こうした状況を受け、過去最大規模となる598小間・170社（前回2024年は563小間・156社）の出展者各社は、人材不足による輸送力低下に歯止めをかけるべく、省力化や省人化、DXに寄与する多種多様なソリューションを出品。3日間で6万6831人（同6万2448人）が訪れる、前回以上の大盛況となりました。

その中でバンザイは、「大型車の整備に必要なリフトをはじ



ブース内では取り扱い製品・サービスを明確に示すメッセージとともに大型車整備工場をイメージしたビジュアルを掲出

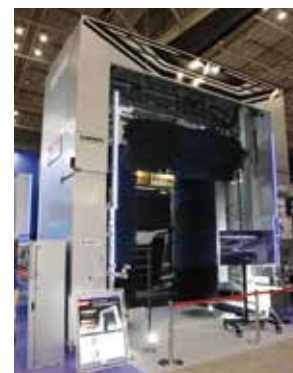
め、検査機器、洗車設備など、各種整備機器をトータルでご提案します」という、取り扱い製品・サービスを具体的にアピールするメッセージを、未来の大型車サービス工場のイメージビジュアルとともにブース内壁へ掲示。

依然として高い水準にある大型車脱輪事故を防ぐナットランナーなどの足回り機器、メカニクの作業環境を改善するエアコンやシートシャッターなどの環境機器、身体的負荷が大きいトラック・バスの洗車を省力化する「BPRO」ディテールリング製品および洗車機器を多数展示しました。

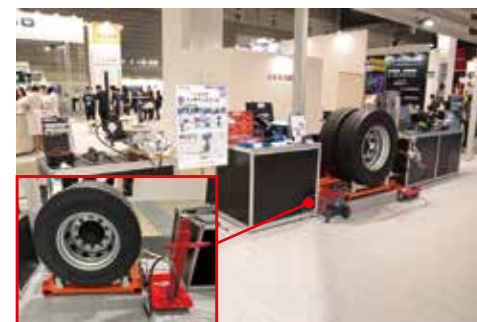
そして新製品の「グローブジェット」、「ユニバーサルマルチリフター」、「モビトラック」を、実演を交えて紹介。数多くのご来場者から大きな注目を集めました。

これからも社員一同、皆様のご期待を超える製品・サービスを提供・提案して参ります。変わらぬご愛顧を心よりお願い申し上げます。

テーマ「変化を楽しみ そして未来へ 変わらないもの Peace of mind（安心）」



ダイフクプラスモアのブースでは、22対のワイドセンサーを搭載し車形検出能力を高めたほか、ドライブスルー方式での1way運用や、特装車にも対応する高圧洗浄機能、ウォータースポットの付着を防ぎつつ拭き上げ作業を軽減できる純水生成装置を用いた洗車にもOP対応する、2026年8月発売予定の大型車用門型洗車機「カミオングレイト」を参考出品。



脱輪事故防止策として、ホイールナットの適切な締付トルク維持・管理を効率化する「パワートルクセッター」（奥）や、10kg前後の大型車用工具の操作を補助する「インパクトレンチホルダー」（中央）などを出品・実演。



ディテールリングブランド「BPRO」からは、水を弾くだけでなく残さないことでクリアな視界を確保する「超撥水サイドミラーコート」の滑水性能をデモ機で訴求（左）す

るなど、大型車の安全性向上・洗車負荷軽減策を提案。

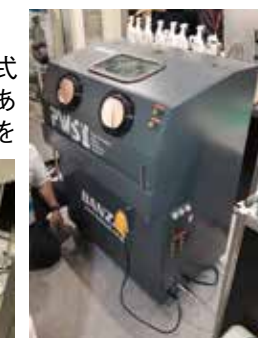


素早く自動で開閉できエアコン効率アップのほか虫やホコリの侵入防止、工場内外の静粛性向上にも寄与する「スモージー」（左）や、屋内の温度上昇を抑える「IS遮熱シート」（右）で、熱中症防止と省エネの両立を訴求。

展示会初出品の新製品に数多くの来場者が注目！

●グローブジェット

粘度の高いギヤオイルやグリス、固着したススなどの頑固な汚れを細部や内部まで落とせる、手動式の高圧部品洗浄機。本体上部の密閉式カバーには両腕を入れられるグローブ付きの穴とのぞき窓があり、部品を入れてからカバーを閉め、中から放射・固定式・直噴いづれかのノズルで専用の洗浄液を吹き付けるため、周囲に洗浄液が飛散しない。洗浄液はタンク内で循環するため、使用水量も抑えられる。



●モビトラック

バッテリー上がりやパワートレインの故障などで不動になった際はもちろん、屋内でエンジンを始動せずに短い距離を移動させるのにも便利な、バッテリー駆動式の電動ロールプッシャー。ローラーをタイヤに押しつけ直接推力を与えることで、タイヤを転がし車両を移動させる。推力は最大25tと高く、バンから大型トラックまで幅広い車種に対応する。



●ユニバーサルマルチリフター 2026年10月発売予定

上部のアタッチメントを交換すればBEVの駆動用バッテリーからエンジン・トランスミッションまで重量物を幅広く脱着・移動できる、能力1.5tのハンドル式電動リフター。リフトの昇降のみならず走る・曲がる・止まるも電動式のため身体的負担が少なく、簡単に移動できる。また本体側面のノブでは、最大荷重においても軽い力でテーブルの位置調整が可能。写真はいずれもアーム式のアタッチメントを装着するが、テーブル式も用意する（双方ともOP）。



新商品の詳細は次のページ！

【手動式高圧部品洗浄機】グローブジェット PWS-2

部品の汚れを簡単・綺麗に! 頑固な汚れの除去をサポート!!
「高圧」「温水洗浄液」で部品の汚れを落とします。

- 細かい部分も洗浄可能!
自動洗浄機での洗浄が難しい細かい部分の汚れやグリスなどの油分もしっかりと洗浄できます。
- 密閉式機構
密閉式となるため高圧で洗浄しても周囲に汚れが飛び散りません。
- 循環式タンク
内部に2種類のフィルターを採用し汚れを確実にキャッチ!
洗浄液が内部で循環し、使用水量を低減できるため経済的です。
- 3タイプのノズル
洗浄箇所に合わせて3つのノズルを使い分けられます。
放射ノズルを使用することで従来洗浄が難しかった円筒状部品の内部洗浄も確実にいきます。



QRコードより実際の洗浄動画が視聴できます。



仕 様

型 式	PWS-2
電 源 (kW)	AC200 単相 2.3
設定可能圧力 (MPa)	4.5 ~ 10
設定可能温度 (℃)	40 ~ 60
タンク容量 (L)	70
各部寸法 (mm)	W1,040 × D710 × H1,740
重 量 (kg)	159

【電動ロールプッシャー】モビトラック MVE-200T

ローラーをトラックなどのタイヤへ押し付け、
直接推力を与えることで重量物を搬送することが可能!

- 特大L字型オフセットハンドル
車体との接触を避けるオフセットハンドル。
ハンドルの向きも変えられ快適な操縦性を実現。
- 人間工学に基づく手動操作
ISO11228に準拠したコンパクトかつ簡単な操作
で安全かつ容易に移動可能。
スムーズな変速調整と正転・逆転機能が正確な
コントロールを実現。
- コンパクトな本体
高さは僅か22.2cm! 商用車向けワンボックスカー
などにも。
※ハンドル水平部分高さ



使用イメージ



QRコードより実際の洗浄動画が視聴できます。

仕 様

型 式	MVE-200T
推 力 (kg / lb)	25,000/55,000
モーター (V)	DC24 IP44
バッテリー (V)	lithium 24
最大速度 (m/min)	4.5
重 量 (kg)	55
寸 法 (mm)	W649 × D849 × H1,007

【トリプルテスター】モータリング装置内蔵仕様 ABST(M)-180DBIM

モータリング機構が本体へ内蔵されました!

- 本体内部にモータリング装置が収まり、追加の基礎工事が不要に!
 - 応答性・追従性に優れたサーボモータ採用!
- ※本製品はトリプルテスターD型専用対応となります。
C型以前への取付けはできません。

モーターが内蔵されました!!



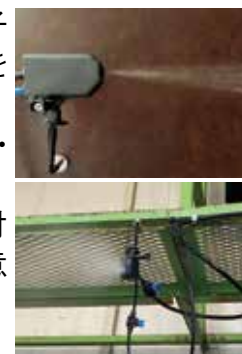
仕 様

型 式	ABST(M) -180DBIM	
	モータリング装置 使用時	標準 使用時
検査可能軸重 (kg)	2,000	3,600
対 象 車 種	軽～普通乗用車	
検査可能速度 (km / h)	0 ~ 50	0 ~ 120
本 体 寸 法 (mm)	W2,900 × D1,200 × H240	

【ミスト装置】クールメカニック CLM-04/CLV-02

猛暑対策に有効なミスト装置が登場!

- オリジナルノズルによりミスト粒子の大きさを最適化。微細ミストを噴霧!
- 作業者にあわせてミスト噴霧量・噴霧方向も簡単に調整可能。
- フレキシブルマグネットベース付ノズルで設置場所を選ばず任意の場所に設置可能。



仕 様

品 名	クールメカニック 基本ユニット	クールメカニック 増結ユニット
型 式	CLM-04	CLV-02
エアー消費量 (L/min)	80 (20×4ノズル)	40 (20×2ノズル)
構 成 品	シングルノズル	4
	エアーバルブφ10	4
	水バルブφ6	4
	エアー用フィルターレギュレータ	1
	エアーの分岐セット	1
	水の分岐セット	1
	水道直結KIT	1

【エレクトリックタイヤリフター】 HWQ-200H-BZ

ドライブオンリフトでも使用可能!

- フラットキット無しタイプのドライブオンリフトでも使用可能。
- 電動昇降式で高さの微調整が容易。
- アーム高さ保存機能により効率良く作業が行えます。



仕 様

型 式	HWQ-200H-BZ
能 力 (kg)	65
揚 程 (mm)	1,100
本 体 寸 法 (mm)	W1,171 × D1,553 × H1,654
バッテリー (V/Ah)	12/12×2
充 電 器 (V/Hz)	AC100 ~ 240 50/60

【可動式急速充放電器】POCHA+ MV2F-15K-QC

「充電」「給電」の両機能を有した充放電器が登場!

- EV急速充電器としての出力は15kW
高圧受電設備、キュービクル増設、高圧配線の工事が不要で導入コストが大幅に抑えられます。
- 停電時バックアップ電源として使用可能。
- キャスター移動可能で、災害時は避難所等へ電源を届けられます。



仕 様

型 式	MV2F-15K-QC
出力(設備→EV) (kW)	15
出力(EV→設備) (kW)	9.2(三相 200V)、1(単相 100V)
外形寸法 (mm)	W616 × D549 × H785(突起部除く)
重 量 (kg)	約 80(ケーブル込)
環境温度 (℃)	-20 ~ +50
防 塵 防 水	IP54
規 格	CHAdemo V2H Ver2.1.1

2026 年 5 月 13 日（水）・14 日（木）

MSC 感動夢工場 第 5 回定時総会・第 10 回研究会



北は北海道、南は鹿児島まで、有力な整備事業者が加盟する自動車整備の全国組織、MSC 感動夢工場は 2026 年 5 月 13（水）に第 5 回定時総会と第 10 回研究会を横浜桜木町ワシントンホテルにて開催しました。また、翌 14 日（木）には、日本最大級のトラック関連総合展示会「ジャパントラックショー 2026」を見学、自動車整備だけでなく、物流と商用車の様々なサービスについて学ぶ機会となりました。

研究会の講師には、教育実践研究家としてメディアでも活躍する菊池省三氏を招き、これまで菊池氏が実践してきた子どもたちが輝くための教育論に基づいた、人材と組織力を高めるコミュニケーションの実践を学びました。

挨拶 ■開会と退任の挨拶

MSC 感動夢工場 小川 慶一 会長



任期満了に伴い、本総会をもって会長職を退任した小川慶一会長が総会・研究会の開会挨拶を行いました。若い経営者に代替わりをした MSC 感動夢工場にあって、自身の経験と知識を注いで会の発展に貢献した小川会長に万雷の拍手が送られました。

挨拶 ■価格競争から付加価値提供の時代へ

(株)バンザイ 山本 正明 監査役

バンザイの山本正明監査役は国内の人口減少が進み、市場が劇的に変化をする中、自動車業界の対応と変革を振り返りました。とりわけ、この数年間は市場が縮小しているにも関わらず、自動車メーカーや販売店が売り上げを拡大している状況を例に挙げ、各社が価格を上げる努力を行っている点に着目。「価格競争から脱却し、付加価値提供が必要」との認識を示し、同会の総会開催の挨拶としました。



第 5 回定時総会

MSC 感動夢工場の第 5 回目となる定時総会が開催されました。会則に従い、小川会長が総会の議長を務め、2025 年度収支報告の第 1 号議案から 2026 年度会計収支予算の第 5 号議案の審議を行いました。その結果、全ての議案が承認されました。なお、本総会で役員改選が行われ、新たな体制がスタートしました。



左から山崎理事、若杉副会長、平田会長、丸山監事、高橋監事、岡本顧問・相談役

MSC 感動夢工場 2026 年度新役員

会長	平田 弘行	平田自動車工業
副会長	若杉 利二	富田オートサービス
理事	山崎 太	山市自動車
理事	佐藤 尚武	小見川自動車整備センター
理事	三平 英司	三平商会
監事	高橋 明子	飯村自動車興業
監事	丸山 智津子	ダイハツ東部
顧問・相談役	小川 慶一	ピットワン Ogawa
顧問・相談役	岡本 慎一郎	岡本車輛
理事	長谷川 忍	バンザイ
理事	山本 伸彦	バンザイ
理事	小野 浩一	萬歳パブリシティ

研究会テーマ「言葉とコミュニケーションで人を育てる」

講演 ■「コミュニケーションあふれる毎日を ～言葉が育てば心が育つ 心が育てば人が育つ～」

教育実践研究家 菊池 省三 氏

学級崩壊立てなおし請負人と呼ばれ、現代の学校教育に一石を投じ続ける元小学校教師の菊池省三氏は様々なメディアにも登場するなど、今注目の教育実践研究家です。その菊池氏の講演は子どもの教育だけに留まらず、大人も含めた普遍的な組織論であることから、今回 MSC 感動夢工場研究会での講演が実現しました。

菊池氏は長年の経験から、学校のクラスの雰囲気や左右しているのが「言葉」であると考えました。実際、菊池氏が受け持ったクラスで、子どもたちに「クラスからなくしたいことば」と「クラスにあふれさせたいことば」を挙げてもらった結果、前者は「死ね」「ばか」「消えろ」「キモイ」、後者は「ありがとう」「頑張ったね」「成長したね」と具体的な言葉で示され、子どもらの本当の気持ちを理解したといいます。



そこで菊池氏は言葉の授業を展開していきます。ひとりの子に対して良いところを見つけてほめる「ほめことばのシャワー」はそのうちのひとつです。撮影した記録動画をまじえながら、菊池氏が語る子どもたちの成長の軌跡は感動的であり、言葉の大切さに加え、大人（リーダー）が子ども（部下）に目を配ることの重要性を説きました。

菊池氏のメソッドは学校教育の現場だけではなく、職場の部下育成、チームビルディングにも活きる手法です。MSC 感動夢工場の会員からも多くの質問が飛び交うなど、充実の講演となりました。

挨拶 ■新会長 就任の言葉

MSC 感動夢工場 平田 弘行 会長



MSC 感動夢工場として三代目の会長に就任した平田弘行氏は、同会の前身となる MSC 経営戦略会議で議長を務めた平田行雄氏のご子息であり、親子二代にわたるトップが実現しました。

平田新会長は「人材の課題だけでなく、地域ごとに横たわる経営の懸案事項も含めて、この MSC 感動夢工場の素晴らしい仲間たちとともに、解決を図っていく会として、全力を注いで取り組んでいきたいと思います」と抱負を述べました。また、自動車整備業界、並びに MSC 感動夢工場を支えてきた先輩方を念頭に、「いつか肩を並べられるように精進してまいります」と語り、挨拶を締めくくりました。MSC 感動夢工場は、次なる時代への第一歩を力強く踏み出しました。

見学 ■ジャパントラックショー 2026

定時総会・研究会翌日の 2 日目は、日本最大級のトラック関連総合展示会、「ジャパントラックショー 2026」を見学しました。

バンザイのブースを見学した各会員は部品の汚れを洗い落とす手動式高圧部品洗浄機や適正なトルク管理でホイールナット締付を行うトルクセッター & トルク管理システムなどの説明と実演に聞き入っていました。



株式会社バンザイ 第100期定時株主総会及びプレス懇談会を開催



第100期定時株主総会

株主総会では全議案が滞りなく承認され終了しました。第100期の事業報告としては、整備工場の改築・老朽化設備の更新需要が引き続き旺盛であったこと、また環境改善や省力化を目的とした設備投資の増加を受け、売上高・営業利益ともに対前年比を上回りました。ホテル事業についても需要の回復により、2018年の事業開始以来最高の売上を達成しました。総売上高はバンザイ創業以来3番目の実績となり、営業利益・経常利益は2期連続で創業以来の最高益を更新しました。

新中期ビジョンの最終年度となる第101期においては、前期からの基本的な経営方針に大きな変更はありませんが、自動車技術の高度化や法制度の改正による整備業界を取り巻く大きな環境変化に対応した新たな商品・サービスの創出に努め、「信頼」を礎としながら、お客様に選ばれ、社会から必要とされる企業を目指す方針が、株主に対して報告されました。

2026年度 業界メディア向けプレス懇談会



事業報告を行う福島取締役管理副本部長



営業本部基本戦略を説明する荒木常務取締役営業本部長



新商品紹介を行う丸村取締役営業副本部長



新任の野口取締役管理副本部長

当社は、6月25日（木）に本社会議室において、第100期定時株主総会並びに取締役会、および業界メディア向けのプレス懇談会を開催しました。



挨拶を述べる柳田社長

業界メディア向けプレス懇談会には10社の媒体関係者の出席があり、柳田社長より第100期の経営概要、第101期の役員体制をはじめとする組織体制、および関係会社の役員改選について報告がなされた後、福島取締役（管理副本部長）が第100期の事業報告、荒木常務取締役（営業本部長）が2026年度の基本戦略を発表し、丸村取締役（営業副本部長）が新製品9点の商品説明を行いました。懇談会後半の質疑応答では様々な質問が寄せられ、荒木常務取締役（営業本部長）をはじめ各役員が丁寧に応答し、盛況のうちに閉幕しました。

当社は、これからも業界メディアを通じて、お客様・ステークホルダーの皆様へ有益な情報や提案を発信してまいります。

BANZAI GUIDE

役員のご紹介

バンザイでは2026年6月25日に開催いたしました、第100期定時株主総会後の取締役会において、下記の通り各取締役・委嘱業務を決定し、就任いたしました。今後とも皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長	柳田昌宏	管理本部 本部長
常務取締役	小池則之	
常務取締役	荒木龍紀	営業本部 本部長
取締役	木村亨	海外販売部長
取締役	丸村智己	営業本部 副本部長
取締役	福島義一	管理本部 副本部長 経営企画管理室長
取締役	野口哲（新任）	管理本部 副本部長 経理部長
常勤監査役	山本正明	
監査役	川田剛	
監査役	岩知道真吾	

尚、本株主総会をもって退任しました取締役 山田卓志は、当社理事に就任いたしました。

編集後記



先日、台湾出張をして参りました。
現地では車両生産工場や整備工場の視察、販売店様への訪問を行い、お客様からのご相談のヒアリング、情報交換、当社取扱商品のPRを行い有意義な時間を過ごしました。
ここ数年であっという間に世界中に広まったスマートフォンやAIの影響は言わずもがな凄まじく、私たちの生活だけでなくお客様との商談の仕方、夕食会でのコミュニケーションにも変化が出てきました。これまでは英語を駆使してなんとかコミュニケーションを図ってきたのですが、今回は常にスマートフォン

＜大友＞
の翻訳アプリがお客様との間に絶えずありました（一部、理解に苦しむ翻訳もありましたが笑）。便利でスピーディですが何となく味気ない…そんな寂しい気持ちは否定できませんでしたが、時代の流れるスピードはそんな私の気持ちなどは待ってはくれず今後も加速し進化し続けていくことでしょう。人とクルマの関係も然りです。今よりもっと複雑になり、迅速さ、正確さが求められて来ることでしょう。バンザイは目まぐるしい時代の変化に対応すべくさまざまな商品をご用意しております！どうぞ、お近くのバンザイ迄お声がけ下さい。